

目 次

音と綴り	... 2	Leçon 5 直説法現在の活用ー 1	... 27
1. 母音	... 2	§23 動詞活用の構造とパターン	... 27
2. 子音	... 2	§24 不定詞語尾が -er の動詞	... 28
3. アルファベ	... 3	§25 不定詞語尾が -ir の動詞	... 29
4. 綴り字記号	... 3		
5. 綴り字の読み方	... 4	Leçon 6 直説法現在の活用ー 2, 命令法	... 32
6. 連続する語と語のあいだで起こる現象	... 8	§26 不定詞語尾が -re の動詞	... 32
7. アクセントとリズムグループ	... 8	§27 不定詞語尾が -oir の動詞	... 35
8. イントネーション	... 9	§28 命令法	... 36
9. 母音の長さ	... 9		
10. 句読記号	... 9	Leçon 7 疑問詞	... 38
		§29 疑問形容詞	... 38
Leçon 1 基本的な動詞の活用	... 10	§30 疑問代名詞 (1)	... 38
§1 主語人称代名詞	... 10	§31 疑問副詞	... 40
§2 -er 動詞の直説法現在	... 10		
§3 疑問文 (1)	... 11	Leçon 8 直説法の時制ー 1	... 43
§4 être の直説法現在	... 11	§32 現在	... 43
§5 属詞と主語の一致	... 12	§33 進行中の行為, 近接未来, 近接過去	... 43
§6 avoir の直説法現在	... 12	§34 複合過去	... 44
		§35 半過去	... 46
Leçon 2 名詞・冠詞・形容詞	... 14		
§7 名詞の性と数	... 14	Leçon 9 直説法の時制ー 2	... 49
§8 冠詞	... 14	§36 単純未来	... 49
§9 品質形容詞	... 15	§37 大過去	... 51
§10 3つの基本表現	... 16	§38 前未来	... 51
§11 主語代名詞 on	... 16		
§12 前置詞 à, de と定冠詞の縮約	... 16	Leçon 10 代名詞ー 1	... 53
		§39 強勢形人称代名詞	... 53
Leçon 3 疑問文・否定文	... 18	§40 目的語人称代名詞	... 53
§13 疑問文 (2)	... 18	§41 中性代名詞 en (1)	... 55
§14 否定文	... 18	§42 目的語人称代名詞や en を併用する 場合の語順	... 56
§15 否定の冠詞	... 19	§43 関係代名詞 (1)	... 57
§16 疑問文に対する答え方	... 19	§44 助動詞 avoir を用いる場合の過去分 詞の一致	... 57
§17 さまざまな否定表現	... 20		
Leçon 4 名詞を修飾する語句	... 22	Leçon 11 さまざまな構文ー 1	... 60
§18 指示形容詞	... 22	§45 強調構文	... 60
§19 所有形容詞	... 22	§46 遊離構文	... 60
§20 数形容詞 (数詞)	... 23	§47 感嘆文	... 60
§21 数量形容詞	... 23	§48 比較構文	... 61
§22 数量表現	... 24	§49 能動態と受動態	... 62

目 次

Leçon 12 さまざまな構文ー 2	... 64	Leçon 18 書き言葉の時制	... 97
§50 代名動詞	... 64	§69 直説法単純過去	... 97
§51 非人称構文	... 66	§70 直説法前過去	... 97
§52 不定詞構文	... 67	§71 現在分詞, 分詞節	... 98
§53 ジェロンディフ	... 68	§72 接続法半過去, 接続法大過去	... 99
		§73 条件法過去第2形	... 99
Leçon 13 代名詞ー 2	... 70	Appendice	... 102
§54 中性代名詞 y, en (2)	... 70	I 基本文型	... 102
§55 中性代名詞 le	... 71	II 発音	... 103
§56 不定代名詞	... 72	1. 音節	... 103
Leçon 14 代名詞ー 3	... 75	2. /ə/ の脱落	... 104
§57 指示代名詞	... 75	3. アンシェヌマン	... 104
§58 疑問代名詞 (2)	... 77	4. リエゾン	... 105
§59 関係代名詞 (2), 関係副詞	... 77	5. エリジョン	... 105
§60 所有代名詞	... 79	6. 有音の h	... 105
Leçon 15 条件法	... 82	III 名詞と形容詞の変化	... 106
§61 条件法現在, 条件法過去	... 82	1. 名詞の複数形	... 106
§62 条件法の用法	... 82	2. 形容詞の複数形	... 106
§63 条件節を用いた表現	... 84	3. 形容詞の女性形	... 107
§64 時制の一致	... 84	4. 名詞の女性形	... 107
Leçon 16 接続法	... 87	IV 数詞	... 108
§65 接続法現在, 接続法過去	... 87	1. 基数詞	... 108
§66 接続法の用法	... 88	2. 序数詞	... 110
Leçon 17 話法	... 92	3. 数詞の用法	... 110
§67 直接話法と間接話法	... 92	4. 概数	... 111
§68 話法の転換	... 92	5. 数に関する表現	... 111
		V 動詞活用の仕組み	... 112
		動詞活用表	... 113

付属の CD について

CD は二枚組です。A-3 のような番号の入った印のあるところが録音されており、番号は頭出し番号です。声の出演は Odile DUSSUD さんと Morvan PERRONCEL さんです。

音と綴り *Sons et orthographe*

1. 母音 *Voyelles*

(1) 口腔母音 *Voyelles orales* (CD A-2)

舌	前 寄 り		後 寄 り	
唇	左右に引く		丸く突き出す	
狭い ↑ 口の開き ↓ 広い		/i/ ¹⁾ ————— 9) y/ ————— /u/ ⁵⁾		
		/e/ ²⁾ ————— 10) ø/ ¹²⁾ ————— /o/ ⁶⁾		
		/ε/ ³⁾ ————— 11) œ/ ⁷⁾ ————— /ɔ/ ⁸⁾		
		/a/ ⁴⁾ ————— /ɑ/ ⁸⁾		

(数字は録音の順序を示します)

◆ 発音記号は / / あるいは [] で囲んで示す。本書では / / を用いる。

◆ 左の図で枠 で囲んだ音の区別は必ずしも明確ではない。初歩の段階では、同じ音で発音してもさしつかえない。

◆ 口腔母音の発音練習 (A-3)

口の開きを一定に保ったままで

① /i/ → /y/ → /u/

/i/ ← /y/ ← /u/

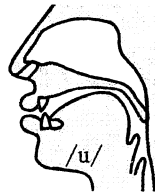
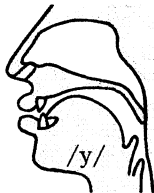
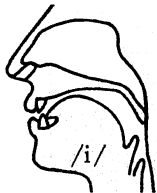
② /e/ → /ø/ → /o/

/e/ ← /ø/ ← /o/

③ /ε/ → /œ/ → /ɔ/

/ε/ ← /œ/ ← /ɔ/

と発音する。



(2) 鼻母音 *Voyelles nasales* (A-4)

/ε/ ¹⁾ ————— /œ/ ²⁾ ————— /ɑ/ ³⁾	/ɔ̃/ ⁴⁾
---	--------------------

◆ /œ/ の発音を /ε/ で代用してもよい。

◆ /ɔ̃/ は /o/ のように口をすぼめる (/ɔ̃/ を /õ/ と表記することもあるが発音は同じ)。

(3) 半母音 *Semi-voyelles* (A-5)

/j/ ————— /ɥ/ ————— /w/
↑ ↑ ↑
(/i/ ————— /y/ ————— /u/)

◆ 口の開きの狭い母音 /i/ /y/ /u/ を、さらに狭く短く発音する。

(録音では /ja/ /ɥa/ /wa/ と発音しています。)

2. 子音 *Consonnes* (A-6)

閉鎖音 { 無声 有声	/p/	/t/	/k/	摩擦音 { 無声 有声	/f/	/s/	/ʃ/
	/b/	/d/	/g/		/v/	/z/	/ʒ/
鼻 音	/m/	/n/	/ɲ/	流 音	/l/	/r/	

◆ 英語からの借用語では /ŋ/ を発音することもある。



(2) 鼻母音 *Voyelles nasales* (A-11)

綴り字	音	例	注
an am en em	/ɑ̃/	chanter /ʃɑ̃-te/ 歌う lampe /lɑ̃:p/ 電灯 lentement /lɑ̃t-mɑ̃/ ゆっくり temps /tɑ̃/ 時	◆ 3人称複数語尾の -ent は無音 : ils chantent /il-ʃɑ̃:t/ 彼らは歌う
in im ain aim ein	/ɛ̃/	vin /vɛ̃/ ワイン imper /ɛ̃-pe:r/ レインコート pain /pɛ̃/ パン faim /fɛ̃/ 空腹 ceinture /sɛ̃-ty:r/ ベルト	◆ yn, ym も /ɛ̃/ と発音する : sympathique /sɛ̃-pa-tik/ 感じのいい ◆ 英語からの借用語での ing は /iŋ/ : jogging /dʒɔŋ-iŋ/ ジョギング
on om	/ɔ̃/	non /nɔ̃/ いいえ nom /nɔ̃/ 名前	◆ 例外 : monsieur /mɔ̃-sjø/ 紳士
un um	/œ̃/	lundi /lœ̃-di/ 月曜日 parfum /par-fœ̃/ 香水	◆ /œ̃/ の代わりに /ɛ̃/ と発音してもよい.
ien	/jɛ̃/	bien /bjɛ̃/ よく	
éen	/eɛ̃/	lycéen /li-se-ɛ̃/ 高校生	
oin	/wɛ̃/	coin /kwɛ̃/ かど	

- ◆ n, m の次に母音字がくるとき, および n, m が連続するときは鼻母音にならない :
animal /a-ni-mal/ 動物, *lune* /lyn/ 月, *lycéenne* /li-se-ɛn/ 女子高校生

(3) 半母音 *Semi-voyelles* (A-12)

綴り字	音	例	注
i ou u } + 母音	/j/ /w/ /ɥ/	étudiant /e-ty-djɑ̃/ 学生 oui /wi/ はい nuit /nuɥ/ 夜	
w	/w/	week-end /wi-kɛnd/ 週末	◆ w を使うのは英語などからの借用語.
oi	/wa/	chinois /ʃi-nwa/ 中国の	
ay oy uy } + 母音	/ɛj/ /waj/ /ɥij/	payer /pe-je/ 払う voyage /vwa-ja:ʒ/ 旅行 essuyer /e-sɥi-je/ 拭く	◆ 母音字の後の y の読み方は i + i と同じ : ay = ai + i, oy = oi + i, uy = ui + i
母音 + { il ill	/j/	travail /tra-vaj/ 仕事 bouteille /bu-tej/ 瓶	
子音 + ill	/ij/	famille /fa-mij/ 家族	◆ 例外 : ville /vil/ 都市, mille /mil/ 千

(4) 子音 *Consonnes* (A-13)

綴り字	音	例	注
b	/b/	bon /bɔ̃/ よい	
	/p/	absent /ap-sɑ̃/ 不在の	◆ c, s, t の前でだけ。
c	/s/	cinéma /si-ne-ma/ 映画	◆ e, i, y の前でだけ。
	/k/	école /e-kɔl/ 学校 clef /kle/ 鍵	
ç	/s/	leçon /lə-sɔ̃/ 授業：(教科書の) 課	◆ a, o, u の前でだけ用いる綴り。
cc	/ks/	accident /ak-si-dɑ̃/ 事故	◆ e, i, y の前でだけ。
	/k/	accord /a-kɔ:r/ 一致	
ch	/ʃ/	chat /ʃa/ 猫	◆ 例外：orchestre /ɔr-kestr/ オーケストラ
d	/d/	idée /i-de/ 考え	
f	/f/	frigo /fri-go/ 冷蔵庫	
g	/ʒ/	argent /ar-ʒɑ̃/ お金	◆ e, i, y の前でだけ。
	/g/	gant /gɑ̃/ 手袋 grand /grɑ̃/ 大きい	
gu	/g/	baguette /ba-ge/ バゲット	◆ e, i, y の前でだけ用いる綴り。
gn	/ɲ/	campagne /kɑ̃-paɲ/ 田舎	
h	/ /	habiter /a-bi-te/ 住む	
j	/ʒ/	jeune /ʒœn/ 若い	
k	/k/	ski /ski/ スキー	◆ k を用いるのは英語などからの借用語。
l	/l/	lait /le/ ミルク	◆ 例外：fils /fis/ 息子
m	/m/	ami /a-mi/ 友達	◆ 例外：automne /ɔ-tɔn/ 秋
n	/n/	nouveau /nu-vo/ 新しい	
p	/p/	parler /par-le/ 話す	◆ 例外：sept /set/ 7
ph	/f/	photo /fɔ-to/ 写真	
q qu	/k/	cinq /sɛ:k/ 5 coq /kɔk/ 雄鶏 quatre /katr/ 4	◆ q だけの綴りは例外的。
r	/r/	rue /ry/ 通り	
s	/z/	chaise /ʃɛ:z/ 椅子	◆ 〈母音字 + s + 母音字〉でだけ。
	/s/	chanson /ʃɑ̃-sɔ̃/ 歌	
sc	/s/	ascenseur /a-sɑ̃-sœ:r/ エレベーター	◆ e, i, y の前でだけ。
	/sk/	escalier /es-ka-lje/ 階段	
t	/t/	très /tre/ とても	
	/s/	station /sta-sjɔ̃/ (地下鉄の) 駅	◆ -tion など限られた綴りで。
th	/t/	thé /te/ 茶	
v	/v/	vite /vit/ 速く	
x	/gz/	exercice /eg-zɛr-sis/ 練習	◆ 語頭の〈ex + 母音〉でだけ。
	/ks/	taxi /tak-si/ タクシー	
z	/z/	onze /ɔ̃:z/ 11	

◆ 上記の場合以外は、同じ子音字が連続しても1つの子音字と同じ読み方をする：elle /el/ 彼女, poisson /pwa-sɔ̃/ 魚

綴り字の読み方の練習

1. 綴り字の読み方を確かめながら発音しなさい。

A. 英語と同じ綴りの語 (A-14)

- | | |
|------------|---------------|
| 1) table | 7) Europe |
| 2) image | 8) attention |
| 3) service | 9) cousin |
| 4) culture | 10) important |
| 5) style | 11) poison |
| 6) journal | 12) train |

B. 人名 (A-15)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1) Alain Delon | 7) Catherine Deneuve |
| 2) Albert Camus | 8) Charles Baudelaire |
| 3) Antoine de Saint-Exupéry | 9) Claude Debussy |
| 4) Arsène Lupin | 10) Édouard Manet |
| 5) Arthur Rimbaud | 11) Louis Pasteur |
| 6) Auguste Renoir | 12) Paul Verlaine |

C. 日本語に入ったフランス語 (A-16)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1) atelier | 7) enquête |
| 2) aventure | 8) gourmet |
| 3) bouillon | 9) hors-d'œuvre |
| 4) croissant | 10) lingerie |
| 5) dessin | 11) mannequin |
| 6) eau de Cologne | 12) millefeuille |

2. CD を聞き、空欄に綴り字を1字書き入れなさい（フランスの都市や地方の名前）。(A-17)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1) B...rde...ux | 7) N...ce |
| 2) Br...ta...ne | 8) N...rm...nd...e |
| 3) Cal...is | 9) P...ri... |
| 4) Can...es | 10) P...ov...n...e |
| 5) Ly...n | 11) St...asbo...rg |
| 6) Ma...s...ille | 12) V...rs...il...es |

6. 連続する語と語のあいだで起こる現象 (A-18)

フランス語には、〈子音＋母音〉を単位として発音しようとする傾向と、〈母音＋母音〉の連続を避けようとする傾向があるために、単語間で次のような現象が生じる（詳細については巻末103ページからの「II 発音」の3, 4, 5を参照）。

アンシェヌマン *Enchaînement*

単語の最後の子音を次の単語の最初の母音につなげて発音する。

une /yn/ + école /e-kɔl/ → une école /y-ne-kɔl/ ある学校

＊本書の第7課までの例文とVersionには、必ずアンシェヌマンをする箇所を[^]で、アンシェヌマンをしてもしなくてもよい箇所を[˘]で示してある。

リエゾン *Liaison*

単語の最後のふつうは読まない子音字を読み、次の単語の最初の母音につなげて発音する。

リエゾンをするときは、s, x, zの綴り字は/z/, dの綴り字は/t/と発音する。その他の子音字は綴り字の読み方の原則どおり。

des /de/ + écoles /e-kɔl/ → des écoles /de-ze-kɔl/ いくつかの学校

＊本書の第10課までの例文とVersionには、リエゾンをする箇所を_˘で示してある。

エリジョン *Élision*

単語の最後の母音字を省略してアポストロフを書く。残った子音字は次の単語の最初の母音につなげて発音する（アポストロフの入る箇所は切り離して書く）。

la /la/ + école /e-kɔl/ → l'école /le-kɔl/ その学校 ○ *l'école* × *l'école*

以上をまとめて図示すれば次のようになる（カギカッコは語の境界を示す）。

アンシェヌマン	…子音] [母音…	} ⇒ … — 子音＋母音 — …
リエゾン	…(子音)] [母音…	
エリジョン	…子音＋(母音)] [母音…	

7. アクセントとリズムグループ *Accent tonique et groupe rythmique*

フランス語のアクセントは強弱のアクセントである。つまり、アクセントのある音節は他の音節よりも強く（その結果やや長めに）発音される。

アクセントの位置は一定しており、常に語や語群の最終音節にある。すなわち、単語を単独で読むときはその最終音節にアクセントを置くが、文中ではひとつひとつの単語のアクセントはなくなり、意味・構文上のまとまりをなす語群（多くは名詞あるいは動詞を中心とした語群）の最後の音節だけがアクセントをもつ。最終音節にアクセントをもつこうした語群をリズムグループという。音楽にたとえば、リズムグループは小節に相当する。

リズムグループ内の各音節は等間隔の弱拍、最終音節が強拍となり、[弱・強]、[弱・弱・強]、[弱・弱・弱・強]のようなリズムを刻む（ただし弱拍も英語などに比べればかなり強くはつきり発音される）。

8. イントネーション *Intonation* (A-19)

文のイントネーションは比較的平板である。一般には、リズムグループ内の弱拍の音程はほぼ一定しており、最終音節の強拍でのみ音程が変化する。平叙文のイントネーションは、文中のリズムグループの終わりで上昇し、文末のリズムグループの終わりで下降する。いくつかのリズムグループを含む文では、文の前半部分の最終音節で音程が最も高くなる。

例：（私はプロヴァンスの小さな町でヴァカンスを過ごした。）

J'ai passé mes vacances dans une petite ville en Provence.

イントネーション	→	→	↗	→	→	↗	→	→	→	↗	→	→	↘	
リズム	•	•	●	•	•	●	•	•	•	•	●	•	•	●

9. 母音の長さ *Durée des voyelles* (A-20)

フランス語では、日本語の「鳥」/tori/と「通り」/to:ri/のように母音の長さによって語の意味の違いが起こることはない。また、英語の *sit* /sit/ と *seat* /si:t/ のように短母音と長母音で音色が異なることもない。フランス語の母音の長さの違いは、単語に固有なものではなく、次のような音声条件（アクセントの有無、母音の種類、後続子音の有無と種類など）によって、いわば生理的な現象として自然に生じるものである。

(1) アクセントのない母音は常に短い。

(2) アクセントをもつ母音は、次の場合に特に長くなる。

(a) /v/, /z/, /ʒ/, /r/, /vr/ の前で（母音はどれでもよい）

élève /e-le:v/ 生徒 chaise /ʃe:z/ 椅子 rouge /ru:ʒ/ 赤い fleur /flœ:r/ 花 livre /li:vr/ 本

(b) 鼻母音および /ɑ/, /o/, /ø/ の後で子音を発音するとき（子音はどれでもよい）

ensemble /ɑ̃-sɑ̃:bl/ いっしょに monde /mɔ̃:d/ 世界 épaule /e-po:l/ 肩

したがって、語形変化や、位置の違いなどによって、同じ語の同じ母音が長くなったり短くなったりすることがある。

français /frɑ̃-se/ フランスの（男性形）…… française /frɑ̃-se:z/ フランスの（女性形）

je chante /ʒə-ʃɑ̃:t/ 私は歌う…… nous chantons /nu-ʃɑ̃-tɔ̃/ 私たちは歌う

cinq /sɛ̃:k/ 5 …… cinq ans /sɛ̃-kɑ̃/ 5 年

10. 句読記号 *Signes de ponctuation* (A-21)

•	ボワン（ピリオド）	point
,	ヴィルギュル（コンマ）	virgule
;	ボワン・ヴィルギュル（セミコロン）	point-virgule
:	ドゥー・ボワン（コロンの）	deux-points
?	疑問符	point d'interrogation
!	感嘆符	point d'exclamation
...	中断符	points de suspension
—	ティレ（ダッシュ）	tiret
《 》	引用符、ギユメ	guillemets
()	丸括弧	parenthèses

Leçon 1

基本的な動詞の活用

フランス語の動詞(verbe)は人称・数・時制などによって形を変える。こうした変化を動詞の活用(conjugaison)といい、変化した形を活用形、変化しないもとの形を不定詞(infinitif)と呼ぶ(不定法あるいは不定形とも呼ばれる)。不定詞は英文法でいう原形不定詞(=動詞の原形)に相当し、辞書の見出し語として載っている形である。

§1 主語人称代名詞 (A-22)

人や物の名前の代わりに用いる語を人称代名詞という。話し手を示すものは1人称、聞き手を示すものは2人称、話し手・聞き手以外の人・物を示すものは3人称である。

文の主語となる主語人称代名詞(pronom personnel sujet)は、ほぼ、英語の人称代名詞の主格に相当する。

単 数			複 数		
	子音の前	母音の前		子音の前	母音の前
1人称	je /ʒə/	j' /ʒ/	1人称	nous /nu/	nous /nu-z/
2人称	tu /ty/	tu /ty/	2人称	vous /vu/	vous /vu-z/
3人称	男性 il /il/	il /i-l/	3人称	男性 ils /il/	ils /il-z/
	女性 elle /ɛl/	elle /ɛ-l/		女性 elles /ɛl/	elles /ɛ-l-z/

- ◆ **je** — 単数1人称のjeは、英語のIと異なり、文頭以外では小文字で書く。ただし母音の前ではj'と書く(=エリジヨン)。
- ◆ **tu, vous** — もともとは単数がtuで複数がvousだったが、現代のフランス語では、家族・友人など親しい間柄でだけtuを使い、一般には英語のyouのように相手が一人でもvousを用いる(英語も古くは2人称単数thouと複数youの区別があった)。
- ◆ **il, elle** — 英語には物を指すitがあるが、フランス語は、後で見るように、物を表わす名詞にも文法上の性があるので、それに応じてil, elleを使い分ける。つまりil, elleは人だけでなく物を指すこともある。
- ◆ **ils, elles** — ellesは女性(厳密には女性名詞)から成るグループにのみ用い、男性(男性名詞)が混ざっていればilsを使う。

§2 -er 動詞の直説法現在

フランス語の動詞の約90%は同じ変化のしかたをする。それらの動詞は、不定詞が-erで終わるので、-er(ウ・エル)動詞と呼ばれる(第1群規則動詞ともいう)。

フランス語の動詞は、不定詞も活用形も〈語幹+語尾〉で構成され、語尾の部分が変化する。-er動詞はすべて、次のような語尾変化をする。

[-er 動詞の語尾変化(直説法現在)] (—の部分が語幹)

—er		/—e/	
je —e	nous —ons	/—/	/—ɔ̃/
tu —es	vous —ez	/—/	/—e/
il —e	ils —ent	/—/	/—/
elle —e	elles —ent	/—/	/—/

[活用例] (色刷りの部分は、綴りでは語尾を、発音表記ではアクセントのある母音を示している。) (A-23)

chanter 歌う

je	chante	nous	chantons
tu	chantes	vous	chantez
il	chante	ils	chantent
elle	chante	elles	chantent

/ʃɑ̃-te/

/ʒə-ʃɑ̃:t/	/nu-ʃɑ̃-tõ/
/ty-ʃɑ̃:t/	/vu-ʃɑ̃-te/
/il-ʃɑ̃:t/	/il-ʃɑ̃:t/
/el-ʃɑ̃:t/	/el-ʃɑ̃:t/

habiter 住む

j'	habite	nous	habitons
tu	habites	vous	habitez
il	habite	ils	habitent
elle	habite	elles	habitent

/a-bi-te/

/ʒa-bit/	/nu-za-bi-tõ/
/ty-a-bit/	/vu-za-bi-te/
/i-la-bit/	/il-za-bit/
/e-la-bit/	/el-za-bit/

◆ 主語が vous のときの活用形は相手が一人でも複数でも同じ形である (vous と 2 人称単数の活用形を組み合わせると vous chante のようには言わない)。

ある事柄について、話し手がそれを事実と判断して述べるときの動詞の形を直説法 (indicatif) という。直説法の現在 (présent) は、いま現在の事柄だけでなく、習慣、進行中の行為、近い未来や過去の事柄なども表わす (詳しくは §32)。

Il chante bien.

彼は歌がじょうずだ。

Nous habitons à Tokyo.

私たちは東京に住んでいる。

◆ 上の例文中の bien や à Tokyo など、動詞を修飾して事態の説明を補う副詞 (句) を状況補語という。

§3 疑問文 (1) (A-24)

日常会話でよく用いられる疑問文は、平叙文の語順のままで、文末の音程を上げる。

Michel chante bien?

ミシェルは歌がじょうずですか?

— Oui, il chante très bien.

— ええ、とてもじょうずです。

— Non, il chante mal.

— いいえ、へたです。

§4 être の直説法現在 (A-25)

être

/etr/

je	suis	nous	sommes
tu	es	vous	êtes
il	est	ils	sont
elle	est	elles	sont

/ʒə-sui/	/nu-sõm/
/ty-e/	/vu-zet/
/i-le/	/il-sõ/
/e-le/	/el-sõ/

être は英語の be 動詞に相当し、基本的には、次のいずれかの構文で用いられる。

(1) 〈主語 + être + 属詞〉 「～は…だ」 (A-26)

Il est grand.

彼は背が高い。

Vous êtes journaliste?

あなたはジャーナリストですか?

◆ 属詞は英文法でいう補語。属詞として用いられる語句は、一般に、形容詞が身分・職業などを表わす無冠詞名詞。

(2) 〈主語 + être + 場所の状況補語〉 「～は…にいる [ある]」

Ils sont à Nice.

彼らはニースにいる。

§ 5 属詞と主語の一致 (A-27)

属詞として用いる形容詞や無冠詞名詞は、主語の性と数に一致した形でなければならない。男性単数形がもとの形、いわば基本形であり、女性形や複数形では、原則として、基本形の末尾にeやsを加えて作る。

	単数	複数
男性	—	—s
女性	—e	—es

例：petit /pə-ti/ 小さい

petit → petits /pə-ti/ (*s が加わっても発音は変わらない)

↓

petite → petites /pə-tit/ (*e が加わるとその直前の子音字が読まれる)

Il est petit. / Elle est petite.

彼は小さい。 / 彼女は小さい。

Ils sont petits. / Elles sont petites.

彼らは小さい / 彼女らは小さい。

Je suis étudiant.

私は学生です。(男性)

Je suis étudiante.

私は学生です。(女性)

Nous sommes étudiants.

私たちは学生です。(男性が含まれている)

Nous sommes étudiantes.

私たちは学生です。(全員女性)

- ◆ e や s を連続して綴ることはしないので、末尾が e の語は男性も女性も同じ形(末尾が é の語は原則どおり変化する)、末尾が s の語は男性の単数と複数が同じ形になる(女性の単数と複数形は形が異なる)：

Il est jeune. = Elle est jeune.

彼[彼女]は若い。

Ils sont jeunes. = Elles sont jeunes.

彼ら[彼女ら]は若い。

Il est français. = Ils sont français.

彼[彼ら]はフランス人だ。

(Elle est française. ≠ Elles sont françaises.)

彼女[彼女ら]はフランス人だ。

§ 6 avoir の直説法現在 (A-28)

avoir

/a-vwa:r/

j'	ai	nous	avons
tu	as	vous	avez
il	a	ils	ont
elle	a	elles	ont

/ʒe/	/nu-za-võ/
/ty-a/	/vu-za-ve/
/i-la/	/il-zõ/
/ɛ-la/	/ɛl-zõ/

avoir は英語の動詞 have と同じく 基本的な意味は「…を持つ」で、冠詞のついた名詞を目的語にとるのがふつうだが(冠詞については § 8), avoir と無冠詞名詞が結びついて慣用句(動詞句という)になったものがある。これらの動詞句では所有の意味が薄れ、〈être + 属詞〉と同じように人の状態を表わしている(英語の *feel hot [cold]*, *be hungry [thirsty, sleepy]* などに相当する)。

〈avoir + 無冠詞名詞〉の動詞句 (A-29)

avoir	{	chaud	暑い
		froid	寒い
		faim	空腹だ
		soif	喉が渇いている
		sommeil	眠い

avoir	{	peur	怖い
		mal	痛い
		honte	恥ずかしい
		raison	正しい
		tort	間違っている

Tu as faim?

お腹がすいている？

— Non, mais j'ai un peu soif.

— いいや、でも少し喉が渇いている。

- ◆ 動詞句を修飾する副詞の très や un peu などは動詞と無冠詞名詞のあいだに置く。

Exercices (練習)

1. かつこ内の不定詞を活用形にして, 全文を書き改めなさい。[§2]

- | | |
|---|---|
| 1) Je (<i>téléphoner</i>) à Paul. | 5) Tu (<i>marcher</i>) trop vite. |
| 2) Vous (<i>travailler</i>) beaucoup. | 6) Nous (<i>dîner</i>) ensemble. |
| 3) Elles (<i>arriver</i>) bientôt. | 7) Elle (<i>parler</i>) très lentement. |
| 4) Jean (<i>embrasser</i>) Marie. | 8) Monsieur et madame Dupont (<i>habiter</i>)
à Paris. |

2. être の活用形を書き入れ, かつこ内の属詞を一致させて, 全文を書き改めなさい。[§3- §5]

例: Elle (*étudiant*). → Elle *est* étudiante.

- | | |
|---|--|
| 1) Tu (<i>fatigué</i>) ? [Tu = 女] | 6) Ils (<i>sympathique</i>). |
| 2) Vous (<i>américain</i>) ? [Vous = 女・単] | 7) Elle (<i>timide</i>). |
| 3) Nous (<i>content</i>). [Nous = 男] | 8) Je (<i>japonais</i>). [Je = 女] |
| 4) Sylvie (<i>blond</i>). | 9) Vous (<i>prêt</i>) ? [Vous = 男・複] |
| 5) Vous (<i>anglais</i>) ? [Vous = 男・複] | 10) Elles (<i>élégant</i>). |

3. avoir の活用形を書き入れ, 全文を書き改めなさい。[§6]

(*必要な箇所でエリジヨンすること。以後の練習でも同様)

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1) Il honte. | 5) Vous raison. |
| 2) Tu mal? | 6) Elle tort. |
| 3) Ils sommeil. | 7) Elles très peur. |
| 4) Je un peu froid. | 8) Nous chaud. |

Version (和訳) (A-30)

- 1) Il chante bien, mais il danse mal.
- 2) Vous êtes chinoise? — Non, je suis japonaise.
- 3) Je suis fatigué et j'ai sommeil.
- 4) Monsieur Legrand est journaliste. Il habite à Genève.
- 5) Sophie est intelligente et sympathique.

Thème (仏訳)

- 1) 彼らはいっしょに踊る。
- 2) ミシェルはとても早口だ。
- 3) 彼女はアメリカ人ですか? — いいえ, イギリス人です。
- 4) 私たちは若い。私たちは学生だ。
- 5) 暑いですか? — ええ, 少し暑いです。